

## 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画（素案）に対する意見と 北九州市環境審議会事務局の考え方

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
<b>第3章 基本理念と目標</b>				
<b>基本理念と計画の視点に関するもの</b>				
1	基本理念に、近年世界的にも課題となっているSDG sの実現と脱炭素社会への貢献の視点を加えたことは良いことだと思う。	ご意見ありがとうございます。 本計画はSDG sと密接に関わりのあるものであることから、廃棄物分野からも、適正処理と脱炭素の両立を目指し、SDG sの実現に向けて取り組んでまいります。	1	④
2	今後、環境教育の重要性が高まってくると思う。 環境教育の推進に関する事項を計画の視点として新たに追加されたことは、非常に良いことだと思う。	ご意見ありがとうございます。 あらゆる世代への環境教育を進めてまいります。	1	④
3	計画の視点として、脱炭素社会への貢献とあるが、同時期にパブリックコメントされている地球温暖化対策実行計画との整合性は図っていくのか。	計画の位置づけにも記載しておりますとおり、本計画および地球温暖化対策実行計画は、ともに北九州市環境基本計画の部門別計画であり、相互に関連する計画であることから、整合性を図りながら、脱炭素社会への貢献に向けた取り組みを進めてまいります。	4	④
4	「地消・地循環」という新たな考え方が示されているが、「地産地消」とはどう違うのか。	市内を中心とする北九州圏域で消費（地産地消）され、発生した廃棄物が、その地域でリサイクル（再資源化）されて再び新たなものづくりや市民生活に活かされるという環境に負荷を与えない資源循環の流れが重要であると考え、「地循環」という言葉にしています。	4	④

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
<b>計画の目標に関するもの</b>				
5	5つの計画目標は理解でき計画目標値も賛同する。	ご意見ありがとうございます。 計画目標値の達成に向けて、努めてまいります。	1	④
6	計画の目標値について、5項目中、リサイクル率以外の4項目について前倒しで達成しており、素晴らしいと思う。	ご意見ありがとうございます。 市民・事業者の方に地道に努力いただいた成果であると考えております。 第2期計画においても、目標の達成に向け、努めてまいります。	1	④
7	市民1人一日あたりの家庭ごみ量は減少傾向にあり、今後も減少する目標ではあるが、国の目標値と比較して高いのか、低いのか、分からない。	環境省では、1人一日あたりの家庭系ごみ排出量の数値目標を2025年度に440gとしておりますが、本計画では中間目標でクリアすることとしております。	4	④
8	市民1人一日あたりの家庭ごみ量について、市民の3Rへの取り組み等により前倒しで目標を達成しているところがあるが、このことについて、市民にもっと周知するべき。	毎年、環境情報誌「ていたんプレス」や市HPなどで報告しているところではございますが、ご意見を参考に、市民の方の取組成果がより分かりやすく伝わるよう、努めてまいります。	2	①
9	前計画の進捗状況として、「以下のとおり検証しました」とあるが、もう少し詳しく要因分析の結果を説明した方が丁寧である。特に目標達成が見込めない項目（リサイクル率）の記述は、もう少し丁寧な説明が必要かと思う。また、P22に掲載されているリサイクル率（一般廃棄物）の推移を見ると、前計画対象期間の前半に下がりその後徐々に上がってきている軌道を描いていることから、その理由を含めてもう少し丁寧な説明があるとよい。	前計画の進捗状況（P10, 11）については、目標の達成状況を簡潔に示しており、リサイクル率等のこれまでの現状の推移およびその要因につきましては、P4, 5に示しております。 ご理解をお願いいたします。	3	①
10	一般廃棄物処理に伴い発生するCO <sub>2</sub> 排出量の算出根拠として、「一般廃棄物の収集運搬、焼却、最終処分発生したCO <sub>2</sub> 排出量から、焼却工場で発電した電力をCO <sub>2</sub> 換算（発電量×CO <sub>2</sub> 排出係数）した排出量を差し引いて算出」とあるが、この記述では売電分、自家利用分の区別が分かりにくい（売電分・自家利用分含めて発電分をすべて差し引いている？）。自家利用分は焼却時の電力消費に伴う排出削減としてカウントできるが、売電分は一般的には環境価値を手放していることから焼却場の削減としてカウントできないはずであり、カウントするのならば、その旨（あくまで社会への貢献量としてという側面で計上している）を明記した方がよい。	焼却工場で発電した電力のうち、自家利用分を除いて売電した電力のみをCO <sub>2</sub> 換算して差し引いています。 ご意見を踏まえて、表現を工夫いたします。	3	②
11	一般廃棄物処理に伴い発生するCO <sub>2</sub> 排出量の目標値までの推移（P. 22）に関し、ごみ焼却量の減少に伴い売電量も減少していくと思われるところ、2025年については2019年よりも大きくなっている。この理由は、新日明工場の稼働に伴うものという理解で良いか。またその場合は、そのことが分かるようにした方が良いのではないか。	ご質問の内容については、ご理解のとおりです。 ご意見を踏まえて修正することといたします。	3	②
<b>各主体に期待される役割と連携に関するもの</b>				
12	北九州市は環境未来都市及びSDGs未来都市であることから各主体の目標もさることながら、各主体が一体となる行動及び実践が肝要と感じる。それぞれの主体の前向きな人々、団体だけではなく、100万市民全体の問題として共有していく事が、目標達成に肝要と思う。その前の意識付け、実態の広報活動が最も大事と考える。まだまだ、誰かがやっている、やってくれているという意識の方が多くおられると感じる。この先、目標達成が段々と難しくなるのであるから、そこをどういう具合に具体化して、浸透力と目標との一体感を生み出すことが必要である。宜しく申し上げます。	ご意見ありがとうございます。 計画目標の達成、については、循環型社会の構築に向けて、今後も、本計画にも記載している各主体の役割や取り組みなどの啓発に努めてまいります。 また、新たな計画の視点として、「地域全体の市民環境力の更なる発展」をかかげたところであり、一人一人の行動変容や地域の環境活動につながる取り組みをさらに進めてまいります。	2	①

【意見の内容】	【意見の反映結果】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	①計画に掲載済（一部掲載を含む）
2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見	②計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）
4 その他の意見	④その他

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
<b>第4章 取組みの方向性</b>				
<b>3Rの推進による最適な「地域循環共生圏」の構築</b>				
13	3Rによる「地消・地循環」の考えを新たに導入し、最適な「地域循環共生圏」の構築を進めることは大変良いと思います。市民の浸透を図るために、スッと受け入れられる北九州市独自のキャッチコピーが有ると良いと思います。	ご意見ありがとうございます。 本計画から新たに導入する「地消・地循環」という考え方が市民の皆様にも普及するよう、効果的な啓発に取り組んでまいります。	1, 2	③
14	循環共生の構築として、家庭ごみの減量化・家庭ごみの3R推進が特に必要と考えます。	家庭ごみの3Rの推進につきましては、本計画にも記載しておりますとおり、引き続き取り組んでまいります。	2	①
15	仕分け用のごみ袋を毎月一定数無料配布すべき。	家庭ごみ及び資源化物の有料指定袋につきましては、ごみの減量化・資源化の促進のほか、排出者としての市民の皆様への一定の責任分担や負担の公平性等の視点で検討し、平成18年度の家庭ごみ収集制度の見直し時に、現在の額を設定しました。 この結果、市民の方のご協力により30%以上のごみ減量を達成し、市民1人一日あたりの家庭ごみ量も着実に減少しています。 また、ごみ処理やリサイクルにも多額のコストがかかっていること等から、現段階では無料配布する状況にはないと考えています。 引き続きのご協力をお願いいたします。	2	③
16	仕分けのお知らせを、徹底すること。	ごみの分け方や出し方については、市HPをはじめ、分別大事典の配布やアプリの活用、環境情報誌「ていたんプレス」等での広報により周知しているところですが、今後ともより多くの市民の皆様が情報にアクセスしやすくなるようにするとともに、広く情報発信を行ってまいります。	2	①
17	大型ゴミの仕分けのお知らせの徹底。		2	①
18	大型ゴミの引き取りの実施。無料で。	大型ごみ（粗大ごみ）の手数料につきましては、ごみの減量化・資源化や負担の公平化などを目的に、平成6年4月に、それまでの無料収集から個別有料収集方式へと変更を行いました。 この結果、粗大ごみ量は着実に減少しており、また、粗大ごみの処理にも多額のコストがかかっていることから、現段階では無料収集方式に変更する状況にはないと考えているところでございます。 引き続きのご協力をお願いいたします。	3	③
19	家庭ごみの3Rを推進する中で、各家庭から出る生ごみや資源ごみの回収は各地域のゴミステーションで行われている。 この回収実績を把握して目標値と地域へ比較提示することにより、地域住民が循環型社会形成の推進活動に対し当事者として捉えていただけ、地域目標として計画達成に向けたアクションも具体化することが出来ると思う。	毎年実施している家庭ごみの組成調査において、かん・びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装の分別協力率を把握しており、本計画の資料編にも掲載しております。 今後、市民の皆様が取組みの効果を実感できるよう、行動に結びつくような公表の仕方について工夫してまいります。	2	③
20	家庭ごみは近年下げ止まっている。 新たに分別の品目を増やしたりしないのか。	新たな分別品目の拡充については、市民の皆様にとっての分別の分かりやすさや効率性など、北九州市における分別・リサイクルに関する基本的な考え方（P.77）に基づいて、適宜検討してまいります。 具体的には、国の検討状況も踏まえながら、プラスチック製品の分別回収・リサイクルの先駆的な実施に向けた検討を進めることとしております。	4	④

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
21	立派な計画を作っていただき、ありがとうございます。 先日テレビで有名な女優さんが環境問題、食品ロスやコンポストについて体験している番組を見ました。生ごみを減らすこと、コンポストの取り組みが良かったです。 北九州市にも身近にコンポストをやっているところがあれば参加してみたいと思いました。 どこでやっているのか教えてください。	ご意見ありがとうございます。 お近くの市民センターなどで、生ごみを堆肥化するためのコンポスト化容器の活用講座（地域生ごみコンポスト講座）を実施しています。このほか、環境ミュージアム等において、市主催の生ごみコンポスト化容器活用講座も開催しております。日時等の詳細は、市HPからでもご確認ください。	1, 4	④
22	コンポストを学校単位で、食育教育の一貫として展開してはどうか。 学校給食の生ごみをコンポスト化し、学校内に家庭菜園をつくり、堆肥を使い、収穫した野菜などを調理実習で使う、という一連のプログラムは相関性を体験できるSDGs教育にもなると思う。 また、コンポストは個人では継続が難しく、堆肥利用の場もなかったりする。家庭ごみの大半を占める生ごみについて、何らかの新しい施策があると良い。	過去には、市内の小中学校で学校給食から出る生ごみのコンポスト化モデル事業を実施したこともありましたが、近年は食育の観点から食への感謝や食品ロスの削減（食べ残しを減らす）を重視するなど、様々な考え方があります。 このため、学校給食のコンポスト化については、関係部署とも連携しながら今後検討してまいります。	2	③
23	生ごみリサイクルをやっている所を見学させてもらったのですが、 ①各家庭にバケツを配布し、3～4日毎に回収して回る ②工場内において液体と乾燥された物に分別される ③液体の物は肥料として畑に蒔かれ、作物はほとんど育苗、道の駅に出して売る。又、固形のものも肥料として販売する。  このように捨てられるべき物が収益につながる。 北九州市でもこういう生ごみリサイクルはできないでしょうか。	生ごみの分別収集につきましては、大都市での回収方法や収集コスト、堆肥の販売先など、様々な課題があるため、本市では各家庭で取り組むことができる「生ごみコンポスト化講座」を実施し、生ごみのリサイクルを推進しております。	2	③
24	古紙や古着のリサイクルを促進するため、「集団資源回収」などの地域での取り組みへの支援を行うとありますが、古紙では町内会・子供会・市民センターに加えて、ごみ収集業者が古紙を回収する日を作ると、資源ごみの浸透と古紙リサイクルが促進されると思います。	本市では、古紙や古着については、回収に取り組む「集団資源回収団体」に対し、奨励金を交付するなどによりリサイクルを推進していますが、これは、市民や市民団体の自主的な環境活動の推進と活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ることを目的としています。（また、奨励金が地域活動の活性化に役立っているため、）今後も引き続き、市民環境力向上を目指して、地域での取り組みを主体に進めていきたいと考えております。 また、ごみ量や収集日の関係から、現在の指定袋（①家庭ごみ、②かん・びん、③ペットボトル、④プラスチック製容器包装）に加え、ごみ収集業者による新たな回収品目を追加することは難しいものと考えますので、現行の制度についてのご理解とご協力をお願いします。	2	③

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
25	事業所のごみ処理に係る費用が高い。	近隣の都市に比べて、本市はごみ搬入手数料が安く設定されているため、事業所のごみ処理費も安価なものとなっています。 本市では、事業系ごみの減量化・資源化の観点から、適正なごみ処理手数料について検討してまいります。	2	④
26	事業所から出るごみのうち、おそらく多いのが書類系のごみだと思うが、そもそも書類をデータとして管理する方が良いのではないかと思う。 今はテレワークや通信技術の進歩によって物理的なやりとりを必要としない働き方が進められているので、可能な限り北九州市も率先して書類系の資源を節約していくべきだと考える。	ご意見ありがとうございます。 事業所については、直接訪問によるごみの分別状況の確認や講演会などを実施しておりますので、ご提案の方法など、ごみの減量化の事例として、紹介させていただきます。	2	①
27	事業所から出る食品廃棄物について、古紙同様に、リサイクル拠点が複数あると良いと思う。	事業系ごみのリサイクルの推進としては大変重要な視点であると認識しており、新たなリサイクル施設の誘致など、リサイクルの受け皿の拡大について検討することとしています。	2	①
28	飲食店から出る生ごみについて、資料編では70%以上がリサイクルしておらず、多くがもっとリサイクル費用が安くなればやると言っているが、これから助成金を出すのか、事業系のリサイクル率を上げるために予算を割くことが効率的だと思う。	事業系ごみのリサイクルの推進に向け、リサイクル業者の育成・支援に努めるほか、リサイクル業者との連携強化や、新たなリサイクル施設の誘致など、リサイクルの受け皿の拡大を検討してまいります。	2	①
29	事業系ごみ対策を強化することとなっているが、事業所がリサイクルしやすい環境を作ることも必要だと思う。	リサイクル業者の育成・支援に努めるほか、リサイクル業者との連携強化や、新たなリサイクル施設の誘致など、リサイクルの受け皿の拡大を検討してまいります。	2	①
30	指定ごみ袋等のバイオマスプラスチック化は良い取組であると思う。	ご意見ありがとうございます。 環境負荷の低減のためにも、引き続き取り組んでまいります。	1	④
31	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案が閣議決定されたが、国の検討状況も見据えて、北九州市もプラスチックごみ対策に取り組んでもらいたい。	国の検討状況を注視しつつ、プラスチック製品の分別収集・リサイクルの実施に向けた検討などを進めてまいります。	2	①
32	数年前に、プラスチック製容器包装の収集日にプラスチック製品も混載して出しても良いとしたことがあったが、その後はどうなったのか。	ご指摘の収集につきましては、環境省の実証事業として平成29年に本市で行ったものになります。 当該実証事業の結果、リサイクルできる資源化物の回収量が増えたことも踏まえ、現在、国において、プラスチック製品の分別収集・リサイクルの実施に向けた仕組みづくりの検討が進められています。	4	④
33	テレビでやっていた食品ロスの取り組みについて、非常にいいことだと思いました。 高齢者で一人暮らしの場合は、使わない食材はどうすればいいですか。車がないと持っていきません。量は少ないかもしれないけど、捨てるより誰かが使ってくれたらありがたいです。 北九州市も食品ロスの取り組みが広がることを願っています。	食品ロスの削減にご協力いただきありがとうございます。 お買い物をされる際に、必要な分だけ購入することも有効ですので、引き続き食品ロスが発生しないよう、ご協力をお願いいたします。 ご家庭で使わない食材は、フードバンク活動を行うNPO等に寄付する方法もございますので、当該団体にお問い合わせください。	4	④

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
34 ～ 36	<p>基本計画（素案）を読ませていただき、北九州市のこれまでの取り組みと今後取り組むべき課題も理解できた。</p> <p>私は婦人会活動26年目です。</p> <p>最初に取り組んだ環境問題はコンポスト化容器による「生ゴミを堆肥へ」。以後環境に興味を抱き今日に至っている。</p> <p>婦人会では、環境局が提案してきた</p> <p>①買い物袋持参運動（カンパスシール制度を利用し被災地支援）</p> <p>②指定袋有料化・分別収集</p> <p>③3R（リデュース・リユース・リサイクル）</p> <p>④3切り（使い切り・食べ切り・水切り）</p> <p>⑤「地産・地消 地元いちばん」</p> <p>⑥残しま宣言3010</p> <p>⑦食品ロスダイアリー</p> <p>などに取り組んできた。</p> <p>これらを踏まえて令和2年度の研修で「SDGs これまでの学びを検証しよう」350名に6週間調査。これまでの学習と実践が多くの方に浸透していることが判明。意識の高さも確認できた。</p> <p>2030年に向けて取り組む課題は記載されているように重要なことばかり。</p> <p>①基本計画が多くの方に理解と実践しようという気になる機会になって欲しい。指導者が関心を持ち意識が高まり、周りに広げて興味を持ち実践する人を増やす。</p> <p>②食品ロスダイアリーをもっと多くの人が実践。やってみて実感。（役立っています）</p> <p>③食品ロスをなくすために活かしてくれる所へ容易に届く。もっと身近に気軽に。</p> <p>以上、行政や事業者、市民団体・NPO、そして学校教育（子ども達の方が学んでいる感じ）で共有し、学び合い実践へと繋げていく。循環型社会や脱炭素社会、自然共生社会の実現は待ったなしだと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>食品ロスダイアリーの活用や生ゴミコンポスト化、フードバンク活動との連携等、循環型社会の形成やSDGsの実現に向け、これまで以上に市民や事業者、市民団体・NPOの皆様が実践に取り組んでいただけるよう、また、本計画がより多くの皆様に浸透するよう、普及啓発に努めてまいります。</p>	2	①
37	<p><b>【食品ロス削減（食品ロス削減推進計画）の内容について】</b></p> <p>ア家庭系食品ロスの削減</p> <p>③市民団体・NPO等との連携</p> <p>この部分の具体的連携内容に、フードドライブの効率化の推進を加えていただくことをご検討願えればと思っています。フードバンク活動の中でも、家庭に眠っている食品をフードドライブBOXを設置し、拠点まで持参していただき、子ども食堂等の団体や経済的な困難を抱えている子育て世帯に食品を配布するフードドライブ活動は市民が食品ロス削減と困窮者支援という環境と福祉の社会課題を広く周知し、身近で貢献できる取り組みとしてとても効果的だと実感しています。市民センターも取組を行いたいと複数申出がありますが、ライブアゲイン1団体のマンパワーで1拠点ごとに回収することが難しく、お断りをしている次第です。例えば、近隣の市民センターがどこかに集荷でき、集荷拠点を回るのであれば効率化も図れると思いますので、フードドライブの効率化を加えていただきますようお願いいたします。</p>	<p>フードバンク活動への支援については、まずは、市民の皆さまや事業者等がフードバンク活動に対する理解を深めていただき、ご協力いただけるよう促すなど、未利用食品の活用に取り組む機運を高めていきたいと考えています。</p> <p>その中で、フードドライブについては、これまでも主催する団体に対し、公共施設への回収ボックスの設置や、市民の皆さまへの広報などを支援してきましたが、今後も主催団体が効率的に実施できるよう、側面的支援を行う中で検討していきたいと考えています。</p>	3	③



<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
38	<p><b>【食品ロス削減（食品ロス削減推進計画）の内容について】</b></p> <p>イ事業系食品ロスの削減</p> <p>④市民団体・NP0との連携</p> <p>この部分の具体的連携内容に食品ロス削減推進法の基本方針で謳われているフードバンクの基盤強化に向けて行政が必要な支援を検討、実施する記載を加えていただくことをご検討願います。</p> <p>理由は、フードバンク活動の入口である食品取扱量は、当団体において昨年約90トンでした。全国の食品ロス640万トンに対して、全国のフードバンクが取り扱っている寄贈量は0.008%でありまだ少量です。ですからSDGsの観点からも困窮者支援に役立てられるために、「食べられる食品はフードバンクに」をスローガンに啓発して、発生抑制とともに、まだまだフードバンクへの寄贈量は増やしていかなければならないと感じます。</p> <p>なぜなら、出口にあたる市内の相対的貧困世帯は母子世帯に特化してもおよそ8000世帯と推測され、当団体が行っている日常的な食料支援世帯はおよそ100世帯、多様な食料支援の一つとして、夏休み（冬休み）期に行政と連携して行っている応援食品配布は、現時点でおよそ600世帯。まだ1/10にも達していない段階です。</p> <p>しかし、現時点で食品保管倉庫は某企業の無償貸与してくださっている拠点を含め市内4カ所。配布はサンキュードラッグ等の協力もあり、市内10カ所。</p> <p>今後の状況を鑑みて例をあげれば、ライフアゲインの拠点である東田地区におけるスーパーシティ構想等も念頭に入れて、その時その時のつぎはぎ基盤ではなく、産学官民が一体となって、市内の食品ロス削減と困窮者支援を実現させる未来志向の基盤強化が不可欠であると感じています。</p>	<p>まずは食品の寄贈量等を増加させるため、事業者へ対しては発生抑制を進めたい一方で、未利用食品の活用を進めるためにも、フードバンク活動等への理解を深めてもらい、食品の提供需要を掘り起こすとともに、スムーズに提供できる仕組みの構築等に対応したいと考えています。</p> <p>災害備蓄食品も視野に入れたさらなる未利用食品の有効活用にも取り組みつつ、福岡県とも連携してフードバンク活動の普及・促進に努め、市民皆で活動を支える機運を高めることで、基盤強化を支援できるよう取組みを続けたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。</p>	3	③
39	<p>一般廃棄物の広域的な受入れや、近年の災害発生に伴う災害廃棄物の処理支援など、素晴らしいことではあると思うが、ごみ処理施設のあり方に関し、焼却工場の処理能力に余力がなくなることはないのか心配である。</p>	<p>ごみ処理体制のあり方については、重要な審議項目の一つとして、環境審議会で審議を行いました。3焼却工場の処理能力とごみ量の将来推計は、本計画の資料編にも示しているとおおり、市内ごみおよび他都市ごみ（広域受入れ）の処理を前提としつつ、余力の範囲内で災害廃棄物の処理を行うこととしています。</p> <p>今後については、将来の焼却工場の建設に備え効率的な施設規模や工場体制を含めた検討を行うこととしています。</p>	2	①
40	<p>計画の周知に関し、特にこれから北九州で暮らしたり、どちらかといえば若い人に知ってもらうのが重要だと思う。</p> <p>具体的には、動画の広告を出したりSNSのプロモーション枠を利用したりすると良いと思う。</p> <p>北九州地域限定にし、15秒以内の広告ならスキップもできないので、ごみを出す時に思い出すと思う。</p>	<p>具体的なお提案をいただきありがとうございます。</p> <p>大学で講演する機会なども利用し、若い世代への効果的な周知に努めます。</p> <p>ご意見を参考に、今後、本計画の効果的な周知に努めます。</p>	2	③
41	<p>周知することが一番重要だと思う。</p> <p>これまでの制度も、より多くの人に伝わっていればそれだけゴミに対する関心を持つ人も増えて、制度をいっぱい考えなくても個人個人で勝手にゴミを減らす意識をしてくれるようになると思う。</p> <p>制度の中身を決めるのも重要だが、周知については記載が薄かったなので、そのあたりも検討していくと効果も上がると思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>様々な手法を活用し、本計画の様々な内容について効果的な周知啓発に努めてまいります。</p>	2	①

<p><b>【意見の内容】</b></p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</p> <p>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</p> <p>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</p> <p>4 その他の意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <p>①計画に掲載済（一部掲載を含む）</p> <p>②計画の追加・修正あり</p> <p>③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）</p> <p>④その他</p>
--	--

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
<b>循環型社会形成に向けた地域全体の市民環境力の更なる発展</b>				
42	<p>廃棄物を少なくするために、的を絞れば3R（リデュース・リユース・リサイクル）は大切な方策ですが、循環型社会の形成には市民・企業の皆さんの自発的な協力が是非とも必要になります。自発的な協力を得るためには、市民・企業の意識の向上がポイントです。</p> <p>大変難しいことですが、地道にコツコツ4K（教育・広報・行動・規制）を促進してはと思います。</p> <p>特にこの中で「早くから、度々の、教育」が重要であり、学校・自治会・企業・各方面のサークルに働きかけ行動まで落すことです。</p>	<p>今後、市民や事業者、地域団体・NPO、行政といった地域社会を構成する各主体の役割や取組みなどの啓発に努めてまいります。</p> <p>また、教育や広報等につきましては、幼少期から高齢期までのあらゆる世代への環境教育を推進するほか、各種SNS媒体も活用した効果的な市民啓発などに取り組んでまいります。</p>	2	①
43	<p>10年後に20歳くらいになる世代への教育も未来のためにとっても重要だと思うが、10年後に25歳以上になるくらいの、今の中学生や高校生に対する教育もやった方が、2030年時点においてはごみの量を減らすことにつながると思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、環境教育の推進は重要な施策であると考えており、あらゆる世代への環境教育を引き続き実施していく中で、エコライフステージの開催や環境首都検定の実施など、中学生や高校生も対象にして取り組んでまいります。</p>	2	④
<b>脱炭素社会、自然共生社会への貢献</b>				
44	<p>最近、ホンダやトヨタがガソリン車を減らす動きをしています。いずれ、電気自動車や水素車が当たり前の時代がくると思います。</p> <p>私も車を買う際に電気自動車やハイブリットと迷います。10年先はまだわかりませんが、ゴミ収集車がたくさん走っているの、まず、それを電気自動車にして北九州市をPRしてはどうですか。</p> <p>ゴミ収集車にゴミを乗せる時、エンジンをかけっぱなしです。電気自動車なら空気もきれいになるし、脱炭素に貢献できると思います。</p>	<p>本市においても、廃棄物発電で得られた電力を有効活用する電動ゴミ収集車（EVパッカー車）を活用している自治体や、市の焼却工場から排出される排ガスからCO<sub>2</sub>を分離回収している自治体の事例を把握しております。</p> <p>脱炭素社会への貢献という観点からも、ご指摘の内容は重要な視点と認識しており、計画にも、先進都市の取組事例や技術革新の動向に注視していくことを示しています。</p>	2	③
45	<p>最近、民間企業が、清掃工場から排出される排ガスからCO<sub>2</sub>を回収し利用するというプロセスの実証実験を開始したとのニュースを見ましたが、北九州市でもこのような取組みは検討されているのでしょうか。</p>		4	④
46	<p>地域循環共生圏の構築で、ごみ処理の広域連携と施設を長寿命化するストックマネジメントが上がっていますが、“ごみ発電”の将来構想・計画を入れたらよいと思います。</p>	<p>ごみ発電につきましては、第4章の「3 脱炭素社会、自然共生社会への貢献」において、ごみ処理施設の更新時には高効率発電設備を導入することや、焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用して発電した電力を売電することにより温室効果ガスの削減に貢献していくことについて、示しています。</p>	3	①
47	<p>家庭から出る廃食用油のリサイクルは良い取り組みだと思うが、あまり市民に周知されていない気がする。</p> <p>もっと啓発に取り組むべき。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>より多くの市民の皆さまのご協力を得られるよう、引き続き、周知・啓発に努めてまいります。</p>	2	①
48	<p>プラスチックの袋は今後も生活に必要なだと思いますのでバイオマス化の製品にする。</p> <p>特にプラスチック類廃棄物の回収をP.9（概要版）「イ・ウ・エ・オ」の美化キャンペーンやパトロールで回収する必要がある。</p> <p>全体的に市民を巻き込んでこの事業推進を賛同します。</p>	<p>事業推進へのご賛同、ありがとうございます。</p> <p>プラスチック袋のバイオマス化については、指定ごみ袋等のバイオマスプラスチック化のほか、事業者へのバイオプラスチック利用等の技術開発への支援などに取り組んでまいります。</p> <p>また、ご提案のプラスチックごみの回収については、大規模な海岸清掃やまち美化キャンペーンの実施による陸域での回収のほか、家庭から出るプラスチック製品の分別収集・リサイクルの実施に向けた検討など、市民の皆さまと協働で進めてまいります。</p>	1, 2	①



【意見の内容】	【意見の反映結果】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	①計画に掲載済（一部掲載を含む）
2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見	②計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等）
4 その他の意見	④その他

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
<b>「地消・地循環」を目指した環境産業の創出と環境国際協力・ビジネスの推進</b>				
49 ・ 50	<p>環境・社会・経済の三側面から経済の視点が乏しいと感じる。環境産業から新たな付加価値を生み出す仕組み、市内中小企業が環境産業に新規参入しやすい仕組みを検討してはどうか。</p> <p>(4) ア リサイクルを軸とした環境産業の創出と環境国際協力・ビジネスの推進</p> <p>・「環境産業の創出・育成・支援」とあるが、具体的に「異業種からの環境ビジネス進出促進」を目的に北九州市独自の「事業再構築補助金」のような補助金制度を創設。</p> <p>・新たな環境産業創出策として、市内企業によるピッチコンテストで優勝者には新事業進出に助成金を出すなどの支援検討。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>異業種からの新規参入しやすい仕組みづくりを構築するため、国の制度や関係部署との連携を図りながら、支援の検討を進めてまいります。</p>	2	③
51	<p>環境・社会・経済の三側面から経済の視点が乏しいと感じる。環境産業から新たな付加価値を生み出す仕組み、市内中小企業が環境産業に新規参入しやすい仕組みを検討してはどうか。</p> <p>(4) ウ 産業振興と環境保全の好循環</p> <p>・「北九州エコプレミアム」の販路拡大をさらに強化し、アジア諸国の環境課題解決策の提案とセットで売り込んでもらいたい。国際的な環境先進都市北九州市の強みを発揮してもらいたい。国内では市場に限界があり、海外で販売できれば企業のモチベーションも高まる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>循環型経済の先進地との国際的な連携や「北九州エコプレミアム」の販路拡大のための情報発信の取組みを検討しており、関係部署と連携しながら進めてまいります。</p>	2	③
52 ～ 54	<p>環境・社会・経済の三側面から経済の視点が乏しいと感じる。環境産業から新たな付加価値を生み出す仕組み、市内中小企業が環境産業に新規参入しやすい仕組みを検討してはどうか。</p> <p>(4) カ 環境国際協力・環境国際ビジネスの促進</p> <p>・アジアに向け、北九州市がビジネスとして環境産業を今以上に強力に売り込んでもらいたい。既存の環境産業企業だけでなく、市内中小企業の新事業創出に繋がるような仕組みを作ってもらいたい。例えばリサイクル事業で生産性向上に貢献するアイデアを提案させて、一部業務だけ参画できるような仕組みづくり。</p> <p>・海外で環境課題解決ビジネスに取り組む国内企業からのオープンイノベーション公募を市が取り纏め、市内中小企業に対して再公募するなどの情報支援の検討。</p> <p>・北九州市のホームページで環境事業の課題解決を希望する企業・自治体からのオープンイノベーションを募り、市内企業から提案を募集するなどの販路拡大支援の検討。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市ではアジア低炭素化センターを中心とし、他局とも連携しながら、市内環境関連企業の海外展開を支援しています。</p> <p>また、内閣府の「スタートアップエコシステム推進拠点都市」の選定を受け、スタートアップのビジネスモデルの具体化に向けた実証の場や協業機会の提供を強化しているほか、スタートアップ支援の一環として、IoTに関するアイデアコンテストを通じて成長可能性のあるビジネスを採択するなど、市内企業とのオープンイノベーションの取組みも進めています。</p> <p>今後も引き続き、官民一体となって環境国際ビジネスを推進してまいります。</p>	2	③
55	<p>北九州市は「世界の環境首都」を目指して取り組んでおり、市の国際協力・ビジネスの促進など、国際的な情報発信のニーズが高まっている。そのため、英訳版（概要版）があるとよいのではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後、本計画の普及啓発を進めていく中で、必要に応じて英訳版の作成について検討してまいります。</p>	2	④

<b>【意見の内容】</b> 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見	<b>【意見の反映結果】</b> ①計画に掲載済（一部掲載を含む） ②計画の追加・修正あり ③計画の追加・修正なし（今後の参考とする等） ④その他
---	---

No.	意見	環境審議会事務局の考え方	内容	反映結果
その他（計画全般に関するもの）				
56	H28年の中間見直しの内容と比べて、今回新たに追加されたものは何か。	<p>基本的には前計画の取組みの方向性や基本理念を引継ぎつつ、SDGsの実現や脱炭素社会への貢献といった視点を新たに基本理念に加えました。</p> <p>また、新たな目標項目として「事業系ごみ量」を設定したほか、市民の皆さまの取組みの効果を分かりやすく評価するため、「家庭系リサイクル率」の目標値も新たに追加しました。</p>	4	④